

## 加西市大学生等遠距離通学定期券購入助成制度についてのよくある質問（Q&A）

Q1.	通学定期券を購入せず、切符の現金払いや回数券等で公共交通機関を利用している場合は、助成対象となりますか。	A1.	通学定期券以外での公共交通機関の利用は、助成対象となりません。
Q2.	予備校へ通うための通学定期券は助成対象になりますか。	A2.	補助対象となる学校は、学校教育法に定める大学院、大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校です。予備校の中にも学校教育法に定める学校がありますので、予備校の種類によっては助成対象となります。
Q3.	看護学校に通っていますが、実習で学校ではなく実習先へ通うために定期券を購入しました。助成対象になりますか。	A3.	実習先の施設が助成対象区域にある場合は、対象となります。
Q4.	加西市に住民票はありますが、市外にアパートを借りて、そこから通学しています。助成対象になりますか。	A4.	助成対象外です。本制度の要件は加西市に住民票があり、かつ市内に生活の拠点があることとなっております。
Q5.	助成申請後、年度途中で大学近くへ下宿することになりましたが、助成対象になりますか。	A5.	下宿するまでの補助は受けられますが、それ以降の定期券購入費については助成対象外となります。
Q6.	年度途中から自宅通学へ変更し、定期券を購入しました。助成を受けられますか。	A6.	自宅通学に変更以降分は助成対象です。
Q7.	加西市外の駅まで自動車で通い、そこから通学定期券で通学していますが、助成対象になりますか。	A7.	対象になります。なお、通学定期券の利用開始区間が極端に遠方にある場合は、居住実態について確認させていただく場合があります。
Q8.	通学のために駅近くに駐車場を借りています。駐車場代は助成対象になりますか。	A8.	助成対象となるのは通学定期券にかかる費用のみですので、対象となりません。
Q9.	大学までスクールバスで通う予定ですが、助成対象となりますか。	A9.	公共交通機関が対象となるため、スクールバスは助成対象外です。
Q10.	鉄道とバスを乗り継いで通学する場合、両方申請することは可能ですか。	A10.	可能です。ただし、助成の上限は、合計して月額10,000円までです。
Q11.	年度をまたぐ有効期間の定期券を購入している場合、助成は受けられますか。また、助成が受けられる場合、補助額の計算はどうなりますか。	A11.	対象年度分について助成します。年度をまたがって定期券を購入した場合は、月の過半日数が属する月を対象として、それぞれの年度で計算します。今年度分は翌年度に申請してください。
Q12.	大学4回生で10月まで定期券を購入し、その後回数券で通学しようと考えていますが、助成対象になりますか。	A12.	対象になります。ただし、回数券で通学される分については対象外となりますので、定期券を利用された10月分まで対象となります。
Q13.	年度中に定期券を新たに購入した場合、その都度、定期券の写しの提出が必要ですか。	A13.	交付申請兼実績報告の際には、前年度購入分の定期券の写しをまとめて提出いただき、助成額を算出します。
Q14.	助成対象の定期券の写しを取らず廃棄してしまいました。申請はできますか。	A14.	申請には定期券の写しが必要です。領収書等では申請できませんので、交付申請兼実績報告まで定期券の写しを保管してください。
Q15.	在学証明書の代わりに学生証の写しを実績報告書に添付してもよいですか。	A15.	学生証の写しでも問題ありません。
Q16.	申請は本人以外でも可能ですか。	A16.	同一世帯の方であれば代理で申請可能です。
Q17.	住民基本台帳及び市税等の収納状況の確認に関する同意書（様式第2号）は、世帯員全員の署名が必要ですか。	A17.	必要です。同意書を基に本制度の要件である納税状況を確認するため、世帯員全員の署名をお願いします。
Q18.	住民基本台帳及び市税等の収納状況の確認に関する同意書（様式第2号）の申請者は世帯主の名前を記載するのか。	A18.	申請者は本制度を利用される方のお名前をご記入ください。続いて世帯員の氏名を記入してください。
Q19.	今年で大学を卒業するため、10月までの定期券しか購入しません。実績報告を10月頃にしてもよいですか。	A19.	実績報告の期間は補助申請年度の翌年度4月となっています。
Q20.	実績報告書の振込先口座は親の口座を記入してもよいですか。	A20.	申請者（定期券購入者）本人の口座をご記入ください。
Q21.	補助金が振り込まれるのはいつ頃ですか。	A21.	交付申請兼実績報告をしていただいた後、書類の審査等を行ったため、7月下旬頃の振り込みを予定しています。